

初等社会科教育法における F D 活動への取り組み

社会科教育講座・福田 喜彦

1. 授業の目的と達成度

本授業は、社会科の性格、目標と内容、授業構成の仕方、指導計画と評価の方法などについて理解すると共に、実地講師や「授業研究」を通して社会科授業における実践上の諸問題や指導上の留意点について把握することを目的としている。

本授業では、シラバスのもとに、「社会科の授業原理」「社会科の内容構成」「社会科の学習方法」「社会科の学習指導計画の立案と作成」「社会科の学習指導のあり方」「社会科授業の評価と方法」の6つのテーマを中心に講義を進めた。本授業での到達目標は、①小学校社会科授業を分析、説明することができる、②小学校社会科授業の実践上の諸問題について、自分の考えをまとめ、論述できる、③学習支援案の立案を行いながら授業を創造、改善していくことができることをめざした。

特に、本授業では、学生の時間外活動を促すための授業改善の工夫を視野に入れつつ、実質的な授業力向上のために模擬授業を取り入れた。しかし、本授業は受講生が多いため、一人一人の学生が45分の授業を実践することはできない。そのため、グループに分けて授業作りを行うように指導した。また、授業は導入部の10分間を想定して児童に社会科授業として何を考えさせるのかを中心に立案させた。本報告では、学生の意見を中心に F D 改善に向けて考察を進めていきたい。

2. 「導入部」の模擬授業を取り入れた授業改善

【各グループの模擬授業テーマ】

- | |
|------------------------|
| A班「ごみの処理の分別」(小4) |
| B班「徳川家康」(小6) |
| C班「流通のしくみ」(小5) |
| D班「世界の中の日本」(小6) |
| E班「江戸の文化をつくりあげた人々」(小6) |
| F班「聖武天皇 大仏をつくる」(小6) |
| G班「農家の仕事」(小3) |
| H班「武士の政治の始まり」(小6) |

(1) A班の模擬授業へのコメント

「トレーを黒板に貼れるように工夫していたところがよかった。先生が話をすすめるのが上手だったけれど内容を把握できていないようで不安があった。」

「センテンスカード・ごみの具体物があって見目に分かりやすく、クイズのようでわくわくするところがあった。声かけもよかったと思う。しかし、授業者がセンテンスカードの場所で混乱しているところがあるように思ったので板書計画に基づいて貼っていても良かったと思います。」

(2) B班の模擬授業へのコメント

「江戸城の形状や歌に注目して、単元に対する導入をするのは良いと思う。教科書の資料をうまく活用していた。しかし、導入内でのつながりがあまりないように感じた。また、資料(江戸城)はカラーの方が見やすい。児童が間違っただけの解説(なぜ違うのか)があまり見られなかったのと良い。」

「教科書の写真と3人の武将の歌から興味を持たせることは、おもしろいと思う。江戸城の様子から何を感じるかという質問はどうつながるのかわかりづらかった。」

(3) C班の模擬授業へのコメント

「実際のスーパーの写真など自分たちの生活から導入部分をつくれているところが良かった。「○○産」の部分だけアップするなどの工夫があればもっと良かったと感じた。」

「近所のスーパーにある野菜や果物の写真からどんな共通点があるのかという発問は、今後の流通の仕組みについてリンクしやすかったと思う。電子黒板を有効に活用しているところはとてもよかった。」

(4) D班の模擬授業へのコメント

「調べ学習を各々がしているのだったら、各班の発表を先にしてから補足の形でこの授業を位置づければ良いのではないかと思った。「日本とつながりの深い国々」と銘打つなら、どのような意味でつながりが深いのかという点を特に見ればよいのではないかと思った。」

「アメリカについて調べてきた子どもたちもい

たと思うので、その子たちに発表してもらっても良かったと思う。資料のオバマとかイチローとかは子どもたちの興味をつかむのに良かった。」

(5) E班の模擬授業へのコメント

「非常に面白かった。地図から過去までさかのぼり、そこから人物にいたる流れは、子どもの生活や行動のルーツを感じるものだった。スライドの色調に関しては考えた方が良かったと思うが、全体的には良かったと思う。」

「奈良時代とかの地図を見せたりして、歴史の中でどのように日本地図が変わってきたのか、よくわかってすごく興味がわいた。」

「実際に地図を書かせることで疑問をおこすことができていた。」

(6) F班の模擬授業へのコメント

「大仏の大きさを先生の何人分や黒板の何倍など具体例を出すことで実感がわくようになっていた。また製造している所の絵を提示することで、昔の人の技術などに驚きがあるのが良かった。具体的にどれくらいの大きさか言おうとしたのがよかった。つくり方などの話を上手くとりこんだら、もっと「なぜそれほど大きなものをつくろうとしたのか」に興味が引かれると思う。」

「大仏の大きさ当てクイズなどを行うことで大仏についての興味を引きつけたのが良かった。」

(7) G班の模擬授業へのコメント

「今は地産地消が進められている点で、子どもたちにとって取っつきやすい導入になっていたと思う。ゆるキャラ的なものもからめさせるのはよかった。そこからみかんだけに視点を置くのはせっかく広げたのにもったいないかと思った。」

「とても板書がきれいで見やすかった。また、漢字にも気をつけていたのは、他の班になかったもので、その点も良かったと思う。また、教材も見やすくてわかりやすかったと思う。」

「愛媛県の地図も拡大しており、愛媛の形を児童に特徴づけたグラフも児童に聞いてみるとよい。」

(8) H班の模擬授業へのコメント

「厳島神社や平家納経のスライドを流すタイミングをもう少し考えれば良かったと思った。児童役の意見を聞いて、何らかのアクションができていたのはよかった。あと、発言を誘導するのにしても、もうすこし自然でわかりやすい言葉がけができたなら良かったと思う。」

「厳島神社の写真から、平清盛がどうやって力をつけていったのかをつなげていくのは難しいのではないかと思います。平清盛をもっと強調するやり方のほうが良かったのでは。」

「修学旅行から授業につなげたのは良かった。」

(9) I班の模擬授業へのコメント

「他のグループの授業を観ることができてとても勉強になった。児童への声かけの仕方や授業の進め方、内容の構成など、私自身が至らない部分がよく分かった。どうすれば、充実した楽しい授業ができるのか、他の人からの指摘を参考に考えてきたい。」

「前に立つことは少し緊張した。みんなですっかり準備しても焦ったので、準備ができていなければ授業なんてできないと思う。他の班の授業も参考になったので、改善点は自分も見直し、良かった点はとりこんで活用できるようにしたい。」

公開授業として行われた本授業への感想としては以下のような意見が寄せられた。

「他のグループの授業を観ることができてとても勉強になった。児童への声かけの仕方や授業の進め方、内容の構成など、私自身が至らない部分がよく分かった。どうすれば、充実した楽しい授業ができるのか、他の人からの指摘を参考に考えてきたい。」

「前に立つことは少し緊張した。みんなですっかり準備しても焦ったので、準備ができていなければ授業なんてできないと思う。他の班の授業も参考になったので、改善点は自分も見直し、良かった点はとりこんで活用できるようにしたい。」

3. 本授業の総括と次年度へ向けた課題

本授業でのFD活動の成果としては、以下の2点である。

- ①導入部の授業だけではあったが、模擬授業への取り組みを通じて学生たちの相互のモチベーションが向上した。
- ②教材づくりにおいて学生たちが主体的に課題を立てて、各班で協力的に導入部の授業デザインを考えることができた。

今後のFD活動に向けた課題として、以下の3点を検討することが必要である。

- ①理論的なものと実践的なものをどのように授業のなかで考慮しながら進めればよいのか。
- ②教育学部で開設されているほかの授業との関連性をどのようにすればよいのか。
- ③授業での主体的な活動の成果をどのように共有していけばよいのか。

附記 本授業は教育学部のFD改善シンポジウムのために、学部全構成員に対して公開し、その後、様々なご意見をいただきました。改めて貴重なご意見をいただいた先生方に感謝いたします。